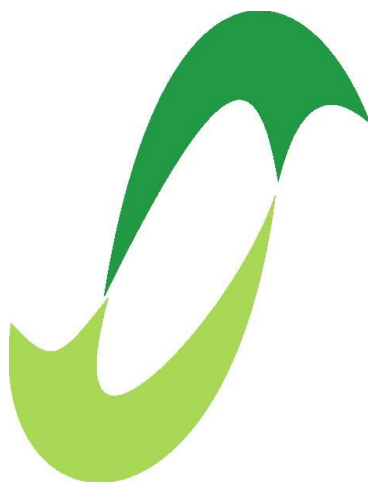


令和 8 年度

入 学 者 募 集 要 項



山形県立新庄神室産業高等学校

〒996-0051 新庄市大字松本 3 7 0 番地

TEL (0 2 3 3) 2 8 - 8 7 7 5 (第 1 職員室)
2 8 - 8 7 7 7 (事務室)

FAX (0 2 3 3) 2 2 - 7 7 7 1

URL <http://shinjokamuro.jp>

目 次

I	設置課程・学科・入学定員	・・・・・・・・ p 1
II	本校の概要	・・・・・・・・ p 1
III	前期（特色）選抜	・・・・・・・・ p 3
IV	後期（一般）選抜	・・・・・・・・ p 8
V	資料	
1	令和7年度入学者の諸会費並びに諸経費（参考）	・・・・・・・・ p 11
2	令和6年度卒業生の進路状況	・・・・・・・・ p 11
3	令和8年度入学生 教育課程	・・・・・・・・ p 12
4	令和8年度山形県公立高等学校入学者選抜日程（抜粋）	・・・・・・・・ p 17

I 設置課程・学科・入学定員

山形県教育委員会の公告に基づき、「令和8年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」にしたがって次のとおり入学者を募集する。

課程	学科	入学定員
全日制	食料生産科	40名
	農産活用科	40名
	機械電気科	40名
	環境デザイン科	40名
	ビジネス創造科	40名

II 本校の概要

1 教育目標

本校では、次のような人間を育成することを目標としています。

- (1) 幅広い知識と技術を身に付け、地域社会と地域産業の発展に寄与する人間の育成
- (2) 柔軟な思考とたゆまぬ実践により、ものごとの真理を探究する人間の育成
- (3) 個性を尊重し、豊かな感性と創造性に富む人間の育成
- (4) 心身ともに健全で、正義感あふれるたくましい人間の育成

2 学校の特色

- (1) 農業2学科、工業2学科、商業科1学科からなる農工商一体型の専門高校です。
- (2) 新庄・最上地域や日本の産業を支えるために、人間性と知性が輝き、創造力に富んだ人材の育成に全力をあげて取り組んでいます。
 - ① 専門高校ならではの恵まれた施設と設備のもと、実物や実際の現場に触れながら、探究的に学ぶことができます。
 - ② 農工商一体型の特徴を活かし、所属科以外の科目を学ぶことができ（総合選択制）、興味・関心や進路希望に合わせたコース選択や選択科目を設定し、多様な進路選択に対応した教育を行います。
 - ③ 体育祭、学校祭などの多彩な学校行事や部活動、ボランティア活動を通して友達との絆や自信を深めることができます。
 - ④ 農業科におけるプロジェクト発表会、意見発表会、工業科におけるものづくりコンテスト、サーベイコンテストなどの各種大会・コンクール、商業科における簿記競技大会、商業研究大会などの取り組みを通して、専門性の向上と挑戦する意欲を高めることができます。
- (3) 地元企業でのインターンシップ、企業見学や現場見学、資格取得などを積極的に進めるとともに、教員による地元企業研修会を行い、就職率100%を目指します。
- (4) 大学等への進学志望者や公務員希望者など多様な進路目標の達成を目指し、個に応じた指導を早期から実施しています。
- (5) 地域と積極的な交流を図るとともに、地域の活性化に貢献する学校づくりに努めています。

3 本校の令和8年度入学生の学科構成について

	学科名	各学科での目標	コース
農業	食料生産科 (40名)	農業の生産分野から、情報化・ブランド推進に関連する技術を身につけた人材を育成します。	
	農産活用科 (40名)	農産加工や食品製造など、農業を人間生活に利活用できる技術を身につけた人材を育成します。	
工業	機械電気科 (40名)	機械・電気分野に関する知識を身につけ、人間生活を支える技術の製造・保全に携わる技術者を育成します。	機械 電気
	環境デザイン科 (40名)	都市施設や建築空間の創造に携わり、持続可能な社会の形成に貢献する人材を育成します。	土木 建築
	ビジネス創造科 (40名)	生産者と消費者をつなぐ新たなビジネスを創造し、産業界の健全で持続的な発展に関わる人材を育成します。	簿記会計 ビジネス経済

4 諸会費並びに諸経費

後述の「V資料」をご覧ください。

5 合格者に対する制服等の採寸

- (1) 日時 令和8年3月20日(金)午前10時から午後2時まで。
- (2) 場所 新庄駅「ゆめりあ」2階会議室
- (3) その他 詳細については、合格発表後に連絡します。山形県公立学校Web出願システムの合格者向け資料から要項等をダウンロードしてください。

6 合格者説明会

- (1) 日時 令和8年3月25日(水)午後1時30分から午後2時30分まで。
- (2) 場所 本校体育館
- (3) その他 詳細については、合格発表後に連絡します。山形県公立学校Web出願システムの合格者向け資料から要項等をダウンロードしてください。

Ⅲ 前期（特色）選抜

1 志 願

(1) 志願資格

次の各号に該当するものとする。

- ① 令和8年3月に県内の中学校、これに準ずる県内の学校又は義務教育学校(以下「中学校」という。)を卒業する見込みの者のうち、本校が定める出願要件を満たしている者。
- ② 合格した場合は、入学が確約できる者。

(2) 通学区域

全県1学区

(3) 募集する学科と人員

課程	学 科	募集人員
全日制	食 料 生 産 科	入学定員の50%以内
	農 産 活 用 科	入学定員の50%以内
	機 械 電 気 科	入学定員の50%以内
	環 境 デ ザ イ ン 科	入学定員の50%以内
	ビ ジ ネ ス 創 造 科	入学定員の50%以内

(4) 志願制限

- ① 志願は、1人1校1学科とする。
- ② 前期（特色）選抜と中高一貫教育における連携型入学者選抜との併願はできないものとする。

(5) 出 願

① 出願に必要な手続

ア 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円を納付する。

イ 中学校長は、山形県公立学校Web出願システムにより、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルとして提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者及び特別支援学校からの志願者については登録を要しない。

② 個別に必要な書類

ア 自己申告書（用紙は本校で用意する。）

進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。

③ 志願受付期間

令和8年1月5日（月）から1月8日（木）12時まで。

④ 受検票の取得

受検票は令和8年1月14日（水）から印刷することができる。山形県公立学校Web出願システムからダウンロードし、自宅やコンビニエンスストア等で印刷し、受検当日は、忘れずに持参すること。

2 各学科のアドミSSION・ポリシー、出願要件、検査方法及び各検査方法の評価の観点

(1) 農業科（食料生産科、農産活用科）

1 アドミSSION・ポリシー

- 農業分野に関する興味を持ち、意欲的に学習する生徒を募集します。
- 専門的な知識や技術の習得および課題解決学習に、主体的に取り組む生徒を募集します。
- 地域振興・地域活性化に取り組む意志を持ち、専門学科での学びを生かして、社会に貢献する意欲のある生徒を募集します。
- 向上心があり、ルールやマナーを守る規範意識の高い生徒を募集します。
- 他者に対する思いやりの心を持ち、仲間と協力して高校生活を送る意欲ある生徒を募集します。

2 出願要件

本校のアドミSSION・ポリシーを理解し、次の(1)と、それ以外の要件のいずれか一つ以上に該当する者

(1) キャリア形成に係る要件

農畜産物の栽培・飼育から流通・販売、IoT技術の利活用に関する学習や、園芸作物の栽培や農産物の加工利用、地域農業資源の活用に関する学習に興味・関心があり、志望の動機や目的意識が明確で、将来、職業人として、率先して地域や産業を支え、貢献しようとする意志を持つ者

(2) 成績評定概況に係る要件

評定合計が27以上の者

(3) 特別活動等に係る要件 次のアまたはイに該当する者

ア 生徒会活動に積極的に取り組み、生徒会役員(生徒会長・副会長・議長・応援団長)としてその充実に努めた者

イ 中学校3年間の部活動や校外活動(スポーツ・文化)において、地区大会で入賞(賞状が授与された入賞)した者、または県優秀選手や県強化選手に指定された者、または部長・副部長として活躍した者

(4) 校外活動に係る要件

校外のボランティア活動団体や地域活動等の団体に所属し、継続的に活動した者

(5) その他 次のアからオのいずれかに該当する者

ア 次の検定試験のいずれかにおいて3級以上を有する者

日本漢字能力検定 実用数学技能検定 実用英語技能検定 珠算検定

イ 地元への就農や地元企業への就職、公務員を希望している者

ウ 入学後、部活動やクラブ活動、ボランティア活動を継続的に行う意志のある者

エ 農業クラブやものづくり、資格取得に積極的に取り組む意志のある者

オ 学校説明会や個別相談会等に参加した者

3 検査方法及び各検査方法の評価の観点

(1) 個人面接

ア 目的意識 イ 積極性・向上心 ウ 所作・対応 エ コミュニケーション能力

(2) 作文

ア 内容 イ 考え・主張の明確さ ウ 構成 エ 表記・表現

4 選抜方法及び割合

調査書(学習の記録)【30%】、調査書(「学習の記録」以外)【30%】、個人面接【20%】、作文【20%】

(2) 工業科（機械電気科、環境デザイン科）

1 アドミッション・ポリシー

- 工業分野に関する興味を持ち、意欲的に学習する生徒を募集します。
- 専門的な知識や技術の習得および課題解決学習に、主体的に取り組む生徒を募集します。
- 地域振興・地域活性化に取り組む意志を持ち、専門学科での学びを生かして、社会に貢献する意欲のある生徒を募集します。
- 向上心があり、ルールやマナーを守る規範意識の高い生徒を募集します。
- 他者に対する思いやりの心を持ち、仲間と協力して高校生活を送る意欲ある生徒を募集します。

2 出願要件

本校のアドミッション・ポリシーを理解し、次の(1)と、それ以外の要件のいずれか一つ以上に該当する者

(1) キャリア形成に係る要件

機械・電気分野におけるものづくりからメンテナンスに関する学習や、自然環境や景観に調和し、人々が安全に暮らせるまちづくりに関する学習に興味・関心があり、志望の動機や目的意識が明確で、将来、職業人として、率先して地域や産業を支え、貢献しようとする意志を持つ者

(2) 成績評定概況に係る要件

評定合計が27以上の者

(3) 特別活動等に係る要件 次のアまたはイに該当する者

ア 生徒会活動に積極的に取り組み、生徒会役員(生徒会長・副会長・議長・応援団長)としてその充実に努めた者

イ 中学校3年間の部活動や校外活動(スポーツ・文化)において、地区大会で入賞(賞状が授与された入賞)した者、または県優秀選手や県強化選手に指定された者、または部長・副部長として活躍した者

(4) 校外活動に係る要件

校外のボランティア活動団体や地域活動等の団体に所属し、継続的に活動した者

(5) その他 次のアからオのいずれかに該当する者

ア 次の検定試験のいずれかにおいて3級以上を有する者

日本漢字能力検定 実用数学技能検定 実用英語技能検定 珠算検定

イ 地元への就農や地元企業への就職、公務員を希望している者

ウ 入学後、部活動やクラブ活動、ボランティア活動を継続的に行う意志のある者

エ 農業クラブやものづくり、資格取得に積極的に取り組む意志のある者

オ 学校説明会や個別相談会等に参加した者

3 検査方法及び各検査方法の評価の観点

(1) 個人面接

ア 目的意識 イ 積極性・向上心 ウ 所作・対応 エ コミュニケーション能力

(2) 作文

ア 内容 イ 考え・主張の明確さ ウ 構成 エ 表記・表現

4 選抜方法及び割合

調査書(学習の記録)【30%】、調査書(「学習の記録」以外)【30%】、個人面接【20%】、作文【20%】

(3) 商業科（ビジネス創造科）

1 アドミッション・ポリシー

- 流通・経済・経営・会計・情報・金融などに興味を持ち、意欲的に学習する生徒を募集します。
- 専門的な知識や技術の習得および課題解決学習に、主体的に取り組む生徒を募集します。
- 地域振興・地域活性化に取り組む意志を持ち、専門学科での学びを生かして、社会に貢献する意欲のある生徒を募集します。
- 向上心があり、ルールやマナーを守る規範意識の高い生徒を募集します。
- 他者に対する思いやりの心を持ち、仲間と協力して高校生活を送る意欲ある生徒を募集します。

2 出願要件

本校のアドミッション・ポリシーを理解し、次の(1)と、それ以外の要件のいずれか一つ以上に該当する者

(1) キャリア形成に係る要件

流通、経済、会計、及び情報に関する学習に興味・関心があり、志望の動機や目的意識が明確で、将来、職業人として、率先して地域や産業を支え、貢献しようとする意志を持つ者

(2) 成績評定概況に係る要件

評定合計が27以上の者

(3) 特別活動等に係る要件 次のアまたはイに該当する者

ア 生徒会活動に積極的に取り組み、生徒会役員(生徒会長・副会長・議長・応援団長)としてその充実に努めた者

イ 中学校3年間の部活動や校外活動(スポーツ・文化)において、地区大会で入賞(賞状が授与された入賞)した者、または県優秀選手や県強化選手に指定された者、または部長・副部長として活躍した者

(4) 校外活動に係る要件

校外のボランティア活動団体や地域活動等の団体に所属し、継続的に活動した者

(5) その他 次のアからオのいずれかに該当する者

ア 次の検定試験のいずれかにおいて3級以上を有する者

日本漢字能力検定 実用数学技能検定 実用英語技能検定 珠算検定

イ 地元への就農や地元企業への就職、公務員を希望している者

ウ 入学後、部活動やクラブ活動、ボランティア活動を継続的に行う意志のある者

エ 農業クラブやものづくり、資格取得に積極的に取り組む意志のある者

オ 学校説明会や個別相談会等に参加した者

3 検査方法及び各検査方法の評価の観点

(1) 個人面接

ア 目的意識 イ 積極性・向上心 ウ 所作・対応 エ コミュニケーション能力

(2) 作文

ア 内容 イ 考え・主張の明確さ ウ 構成 エ 表記・表現

4 選抜方法及び割合

調査書(学習の記録)【30%】、調査書(「学習の記録」以外)【30%】、個人面接【20%】、作文【20%】

3 検 査

作文及び面接を次の要領で実施する。

- (1) 日 時 令和8年1月20日(火) 午前8時40分 集合(開場時刻 午前8時10分)
- (2) 会 場 本校
- (3) 作 文
 - ① 時間 50分
 - ② 字数 600字程度
- (4) 面 接
 - ① 形態 個人面接
 - ② 時間 10分程度
- (5) 携帯品
受検票、鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴム、上履き、外履きを入れる袋
※① 鉛筆(シャープペンシルを含む)の芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。
※② 下敷きの使用は認めない。
※③ 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。

4 選 抜

- (1) 選抜は、調査書情報、面接、作文等の結果を総合して行う。
- (2) 令和8年1月29日(木)16時に山形県公立学校Web出願システムにより前期(特色)選抜結果を通知する。ただし、合格者の発表は、令和8年3月17日(火)16時に行う。

5 後期(一般)選抜への志願

前期(特色)選抜の合格内定者は、改めて他の高等学校に出願することはできない。前期(特色)選抜に漏れた者で、後期(一般)選抜を志願する者は、山形県公立学校Web出願システムで新たに後期(一般)選抜の志願情報の登録が必要となる。ただし、私立高等学校への志願変更あるいは、以降志願を行わない場合は、手続きを要しない。

なお、入学者選抜手数料の納付については、「令和8年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」による。

6 その他

上記に記載のない事項については「令和8年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」にしたがって行うこと。

IV 後期（一般）選抜

1 志 願

(1) 志願資格

次の各号の一に該当するものとする。

- ① 令和8年3月に県内の中学校、これに準ずる県内の学校又は義務教育学校を卒業する見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を修了(以下「卒業」という。)する見込みの者で令和8年度前期(特色)選抜及び中高一貫教育における連携型入学
者選抜において合格内定していない者。
- ② 中学校を卒業した者。
- ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条の各号のいずれかに該当する者。

(2) 通学区域

全県1学区

(3) 募集人員

募集人員は、各学科の入学定員から前期(特色)選抜の合格内定者の数を減じた数。

(4) 志願制限

- ① 志願は、1人1校とする。
- ② 第3志望まで認める。

(5) 出 願

① 出願に必要な手続

ア 山形県公立学校Web出願システムにより出願情報の登録を行い、「山形県立学校の授業料等徴収条例」に基づき、入学者選抜手数料として、2,200円を納付する。

イ 中学校長は、山形県公立学校Web出願システム上により、調査書情報を登録するとともに、評定概況を添付ファイルで提出する。ただし、評定概況については、県外からの志願者、特別支援学校からの志願者及び令和6年度以前の卒業生からの志願者については登録を要しない。

ウ 志願者に聴覚障がい者がいる場合、中学校長は「聴力レベル(dB)」及び学力検査において配慮を必要とする事項を記した公文書を作成し、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。

② 個別に必要な書類

ア 自己申告書(用紙は本校で用意する。)

進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合には、志願者等が作成した自己申告書を本校校長あて親展で提出することができる。郵送の場合は簡易書留郵便とし、持参の場合も含めて、志願受付期間内に必着とする。

イ 在籍高等学校長の志願承諾書(在籍高等学校の任意様式)

高等学校に在籍のまま志願する場合は、出願の際に山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。

③ 志願受付期間

令和8年2月18日(水)から2月24日(火)12時まで。

④ 受検票の取得

受検票は令和8年2月27日(金)から印刷することができる。山形県公立学校Web出願システムからダウンロードし、自宅やコンビニエンスストア等で印刷し、受検当日は、忘れずに持参すること。

⑤ 出願に関する留意点

ア 志願の取消しや締切り前の志願変更の対象者が確認された場合は、出身中学校長が本校校長へ電話連絡する。その後、山形県公立学校Web出願システムにおいて必ず公文書を添付ファイルとして提出するとともに、取消しや志願先の変更を行うこと。

イ 前期(特色)選抜の志願にかかわって志願先高等学校に調査書情報、評定概況が登録済の場合は、登録を要しない。

2 学力検査

- (1) 検査日時 令和8年3月7日(土) 午前8時15分集合(開場時刻午前7時45分)
- (2) 検査会場 本校
- (3) 検査教科及び日程

時 間	教 科
8 : 5 0 ~ 9 : 4 0	国 語
1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 5 0	数 学
1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 0 0	社 会
1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 4 0	理 科
1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 5 0 (14:00 から約 10 分間はリスニングテスト)	外 国 語 (英 語)

- (4) 検査教科の配点
国語、社会、数学、理科、外国語(英語) 各 100 点
- (5) 受検者の携帯品
 - ① 受検票
 - ② 筆記用具
鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削りのみとする。
ア 下敷きの使用は認めない。
イ 聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。
ウ 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの太さは0.5mm以上とする。
エ 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。
オ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。
カ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類、その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。
キ 連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り使用してはならない。
 - ③ 昼食
 - ④ 上履き
 - ⑤ 外履きを入れる袋

3 選 抜

- (1) 選抜の方法
選抜は、調査書情報及び学力検査の成績等に基づき、本校の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力、適性等を判定して行う。また、調査書情報中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は、5:5とする。
- (2) 国立諸学校に合格した志願者の取扱い
在籍又は出身中学校長から、国立諸学校に合格し入学する旨報告のあった志願者については選抜から除外する。在籍又は出身中学校長は、令和8年3月4日(水)12時までに、国立諸学校への入学の諾否を本校校長に対して、山形県公立学校Web出願システムにより報告するものとする。その後判明した場合も、入学の諾否を在籍又は出身中学校長が、本校校長に対して、できるだけ速やかに電話連絡すること。
- (3) 合格発表
合格者の発表は、令和8年3月17日(火)16時に山形県公立学校Web出願システムにより行う。

4 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、山形県公立学校Web出願システムにより行う。

5 追検査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査(以降、本検査という)の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ② 真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

追検査の受検を希望する者は、次の①～②の連絡等を行う。

- ① 本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
- ② 上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍又は出身中学校長に提出する。

(3) 追検査の内容及び日時等

- ① 学力検査について
内容は上記「2 学力検査」に準ずる。
- ② 検査日時
令和8年3月12日(木) 学力検査(時間は本検査に同じ)
- ③ 検査会場
本校

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

6 その他

上記に記載のない事項については「令和8年度山形県公立高等学校入学者選抜実施要項」にしたがって行うこと。

V 資 料

1 令和7年度入学者の諸会費並びに諸経費（参考）

(1) 県に納入する経費

① 入学料 5,650円

② 授業料 118,800円

※ 就学支援制度申請者は、原則、授業料の納付が不要です。

(2) 学校に納入する経費

【毎月口座振替によって納入する経費（5月～11月まで7回に分けて納入）】

① P T A 会 費 9,720円 月当たり 1,380円（5月1,440円）

② 教育後援会費 15,960円 月当たり 2,280円

③ 生 徒 会 費 12,000円 月当たり 2,500円

（9・10月1,000円、11月0円）

④ 修学旅行積立 49,000円 月当たり 7,000円

年 合 計 86,680円 月当たりの振替額 13,160円

（5月13,220円、9・10月11,660円、11月10,240円）

【入学時に納入する経費】

⑤ 学 年 経 費 45,000円程度（実習教材費、校外学習交通費、検定料等）

(3) 販売店に納入する経費（年度当初に購入するもの）

① 制 服 代 50,000円程度

② 教科書・副読本代等 20,000円程度

③ 学 用 品 等 45,000円程度（実習着、運動着、運動靴、各学科で必要なもの等）

※ 所属学科、男女で若干異なります。

2 令和6年度卒業生の進路状況

(1) 就職

区分	人 (%)
県内就職	28 (37.8)
県外就職	10 (13.5)
公務員	2 (2.7)
自営他	1 (1.3)
合計	41 (55.4)

(2) 進学

区分	人 (%)
大学	4 (5.4)
短期大学	0 (0.0)
県立大学校	7 (9.5)
専門学校	22 (29.7)
合計	33 (44.6)

3 令和8年度入学生 教育課程

(1) 農業科（食料生産科）

教 科	科 目	標準 単位数	学 年 別 単 位 数				備 考	
			1 年	2 年	3 年	計		
			共 通	共 通	共 通			
(必修修科目◎、選択必修修科目○、学校設定科目●)								
国 語	現 代 の 国 語	2	◎		2		2	【学校設定科目】 平成15年度から開設 「菌類園芸」
	言 語 文 化	2	◎	2			2	
	文 学 国 語	4				▲2	0・2	
	国 語 表 現	4				2	2	
地 理	地 理 総 合	2	◎			2	2	令和6年度から開設 「電気・電子概論」 「工業技術概論」 「土木・建築概論」
歴 史	歴 史 総 合	2	◎	2			2	
公 民	公 共	2	◎		2		2	「電気・電子概論」 「工業技術概論」 「土木・建築概論」
	政 治 ・ 経 済	2				▼2	0・2	
数 学	数 学 I	3	◎	3			3	【芸術】 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択
	数 学 II	4			2	2	4	
	数 学 III	3				▼2	0・2	
	数 学 A	2				▼2	0・2	
理 科	科学と人間生活	2	◎	2			2	【教科 情報】 「情報Ⅰ」を「農業と情報」で代替（2）
	化 学 基 礎	2				▲2	0・2	
	生 物 基 礎	2	◎		3		3	
保 健 体 育	体 育 7～8	◎	2	2		3	7	【2年次】 ☆から1科目選択（科内選択Ⅰ）
	保 健	2	◎	1	1		2	
芸 術	音 楽 I	2	○	2			0・2	【3年次】 ★から1科目選択（科内選択Ⅱ） ▲から1科目選択（総合選択Ⅰ） ▼から1科目選択（総合選択Ⅱ） ■から1科目選択（総合選択Ⅲ）
	美 術 I	2	○	2			0・2	
	書 道 I	2	○	2			0・2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3			3	★から1科目選択（科内選択Ⅱ） ▲から1科目選択（総合選択Ⅰ） ▼から1科目選択（総合選択Ⅱ） ■から1科目選択（総合選択Ⅲ）
	英語コミュニケーションⅡ	4			3	2	5	
	論 理 ・ 表 現 I	2				■2	0・2	
家 庭	家 庭 基 礎	2	◎	2			2	「数学Ⅲ」選択者は、「数学Ⅱ」を前期で集中履修し、 その後に「数学Ⅲ」を履修する
情 報	情 報 I	2	◎	(2)			(2)	
共通教科・科目計		最多履修単位		19	15	17	51	「簿記」を選択する場合は、▼と■の両方で選択すること
		最少履修単位		19	15	11	45	
農 業	農 業 と 環 境	3～6		4			4	【総合実習】 〔 〕内は、時間割外総合実習の単位数で外数である 【卒業までに修得すべき教科・科目の単位数】 74単位 【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	課 題 研 究	3～6				4	4	
	総 合 実 習	2～8		[1]	4 [1]	[1]	4 [3]	
	農 業 と 情 報	2～6	◎	2	2	▲2	4・6	
	作 物	2～8			2		2	
	野 菜	2～8			2		2	
	果 樹	2～8				2	2	
	草 花	2～8				▼2	0・2	
	畜 産	2～10			☆2		0・2	
	栽 培 と 環 境	2～6				★2	0・2	
	農 業 経 営	2～6				2	2	
	農 業 機 械	2～6				2	2	
	植物バイオテクノロジー	2～6		2			2	
	食 品 製 造	2～8				■2	0・2	
	地 域 資 源 活 用	2～8				★2	0・2	
工 業	菌 類 園 芸		●		☆2		0・2	【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	電 気 ・ 電 子 概 論		●			▲2	0・2	
	工 業 技 術 概 論		●			▼2	0・2	
商 業	土 木 ・ 建 築 概 論		●			■2	0・2	【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	商 品 開 発 と 流 通	2～4				▲2	0・2	
家 庭	簿 記	2～6				▼2・■2	0・4	【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	フ ー ド デ ザ イ ン	2～6				▼2	0・2	
専門教科・科目計		最多履修単位		8 [1]	12 [1]	18 [1]	38 [3]	
		最少履修単位		8 [1]	12 [1]	12 [1]	32 [3]	
総合的な探究の時間		3～6	◎	2	2		4	
合 計				29 [1]	29 [1]	29 [1]	87 [3]	

(2) 農業科（農産活用科）

教 科	科 目	標準 単位数	学 年 別 単 位 数				備 考	
			1 年	2 年	3 年	計		
			共 通	共 通	共 通			
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)								
国 語	現 代 の 国 語	2	◎		2		2	【学校設定科目】 平成15年度から開設 「フラワーデザイン」
	言 語 文 化	2	◎	2			2	
	文 学 国 語	4				▲2	0・2	
	国 語 表 現	4				2	2	
地 理	地 理 総 合	2	◎			2	2	令和6年度から開設 「電気・電子概論」 「工業技術概論」 「土木・建築概論」
歴 史	歴 史 総 合	2	◎	2			2	
公 民	公 共	2	◎		2		2	「電気・電子概論」 「工業技術概論」 「土木・建築概論」
	政 治 ・ 経 済	2				▼2	0・2	
数 学	数 学 I	3	◎	3			3	【芸術】 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択
	数 学 II	4			2	2	4	
	数 学 III	3				▼2	0・2	
	数 学 A	2				▼2	0・2	
理 科	科学と人間生活	2	◎	2			2	【教科 情報】 「情報Ⅰ」を「農業と情報」で代替（2）
	化 学 基 礎	2				▲2	0・2	
	生 物 基 礎	2	◎		3		3	
保 健 体 育	体 育 7～8	◎	2	2	3	7	【2年次】 ☆から1科目選択（科内選択Ⅰ）	
	保 健	2	◎	1	1			2
芸 術	音 楽 I	2	○	2			0・2	【3年次】 ★から1科目選択（科内選択Ⅱ） ▲から1科目選択（総合選択Ⅰ） ▼から1科目選択（総合選択Ⅱ） ■から1科目選択（総合選択Ⅲ）
	美 術 I	2	○	2			0・2	
	書 道 I	2	○	2			0・2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3			3	
	英語コミュニケーションⅡ	4			3	2	5	
	論 理 ・ 表 現 I	2				■2	0・2	
家 庭	家 庭 基 礎	2	◎	2			2	「数学Ⅲ」選択者は、「数学Ⅱ」を前期で集中履修し、 その後に「数学Ⅲ」を履修する
情 報	情 報 I	2	◎	(2)			(2)	
共通教科・科目計		最 多 履 修 単 位	19	15	17	51	「数学Ⅲ」選択者は、「数学Ⅱ」を前期で集中履修し、 その後に「数学Ⅲ」を履修する	
		最 少 履 修 単 位	19	15	11	45		
農 業	農 業 と 環 境	3～6		4			4	「簿記」を選択する場合は、▼と■の両方で選択すること
	課 題 研 究	3～6				4	4	
	総 合 実 習	2～8		[1]	4 [1]	[1]	4 [3]	
	農 業 と 情 報	2～6	◎	2	2		4	【総合実習】 〔 〕内は、時間割外総合実習の単位数で外数である
	野 菜	2～8				2	2	
	果 樹	2～8				▼2	0・2	
	草 花	2～8			2	■2	2・4	【卒業までに修得すべき教科・科目の単位数】 74単位
	植物バイオテクノロジー	2～6		2			2	
	食 品 製 造	2～8			2	2	4	
	食 品 化 学	2～9				★2	0・2	【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	食 品 微 生 物	2～6			☆2		0・2	
	食 品 流 通	2～6				▲2	0・2	
	生 物 活 用	2～6				2	2	
	地 域 資 源 活 用	2～8				★2	0・2	
	フラワーデザイン		●		☆2		0・2	
工 業	電気・電子概論		●			▲2	0・2	
	工 業 技 術 概 論		●			▼2	0・2	
	土 木 ・ 建 築 概 論		●			■2	0・2	
商 業	商品開発と流通	2～4				▲2	0・2	
	簿 記	2～6				▼2・■2	0・4	
家 庭	フ ー ド デ ザ イ ン	2～6				▼2	0・2	
専門教科・科目計		最 多 履 修 単 位	8 [1]	12 [1]	18 [1]	38 [3]		
		最 少 履 修 単 位	8 [1]	12 [1]	12 [1]	32 [3]		
総合的な探究の時間		3～6	◎	2	2		4	
合 計				29 [1]	29 [1]	29 [1]	87 [3]	

(3) 工業科（機械電気科）

教 科	科 目	標準 単位数	学 年 別 単 位 数							備 考	
			1 年	2 年		3 年			計		
			共通	共通	系 機 械 電 気	共通	系 機 械 電 気				
(必修科目◎、選択必修科目□、学校設定科目●)											
国 語	現 代 の 国 語	2	◎		2					2	【学校設定科目】 平成26年度から開設 「農業概論」
	言 語 文 化	2	◎	2						2	
	文 学 国 語	4					▲2			0・2	
	国 語 表 現	4					2			2	
地 理	地 理 総 合	2	◎				2			2	【芸術】 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択
歴 史	歴 史 総 合	2	◎	2						2	
公 民	公 共	2	◎		2					2	
	政 治 ・ 経 済	2					▼2			0・2	
数 学	数 学 Ⅰ	3	◎	3						3	【教科 情報】 「情報Ⅰ」を「工業情報数理」で代替（2）
	数 学 Ⅱ	4			3		2			5	
	数 学 Ⅲ	3					▼2			0・2	
	数 学 A	2					▼2			0・2	
理 科	科 学 と 人 間 生 活	2	◎	2						2	【3年次】 ▲から1科目選択（総合選択Ⅰ） ▼から1科目選択（総合選択Ⅱ） ■から1科目選択（総合選択Ⅲ）
	物 理 基 礎	2	◎		2					2	
	化 学 基 礎	2					▲2			0・2	
保 健 体 育	体 育 7～8	◎	2	2			3			7	【卒業までに修得すべき教科・科目の単位数】 74単位
芸 術	保 健	2	◎	1	1					2	
	音 楽 Ⅰ	2	○	2						0・2	
	美 術 Ⅰ	2	○	2						0・2	
外国語	書 道 Ⅰ	2	○	2						0・2	【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	英 語 コミュニケーションⅠ	3	◎	3						3	
	英 語 コミュニケーションⅡ	4			3		2			5	
家庭 情報	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2					■2			0・2	【簿記】を選択する場合は、▼と■の両方で選択すること
	家 庭 基 礎	2	◎	2						2	
	情 報 情 報 Ⅰ	2	◎	(2)						(2)	
共通教科・科目計		最多履修単位	19	15			17			51	【卒業までに修得すべき教科・科目の単位数】 74単位
		最少履修単位	19	15			11			45	
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4		3						3	【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	課 題 研 究	2～4					3			3	
	実 習	4～12			3		3			6	
	製 図	2～8		1	2		2			5	
	工 業 情 報 数 理	2～4	◎	2						2	
	工 業 管 理 技 術	2～8					▲2			0・2	
	機 械 工 作	4～8			3					0・3	
	機 械 設 計	4～8			2			2		0・4	
	原 動 機	2～4						2		0・2	
	電 気 回 路	4～6		2	2					4	
	電 気 機 器	4～6							2	0・2	
	電 力 技 術	4～6				3			2	0・5	
	電 子 技 術	4～6				2				0・2	
	電 子 計 測 制 御	4～6					■2			0・2	
	プログラミング技術	2～8					▼2			0・2	
農 業	植物バイオテクノロジー	2～6					■2			0・2	
	地 域 資 源 活 用	2～8					▲2			0・2	
	農 業 概 論		●				▼2			0・2	
商 業	商 品 開 発 と 流 通	2～4					▲2			0・2	
	簿 記	2～6					▼2・■2			0・4	
家 庭	フーズデザイン	2～6					▼2			0・2	
専門教科・科目計		最多履修単位	8	12			18			38	
		最少履修単位	8	12			12			32	
総合的な探究の時間		3～6	◎	2	2					4	
合 計				29	29		29			87	

(4) 工業科（環境デザイン科）

教 科	科 目	標準 単位数	学 年 別 単 位 数						備 考	
			1 年	2 年		3 年		計		
			共通	共通	系 土木 建築	共通	系 土木 建築			
(必修科目◎、選択必修科目□、学校設定科目●)										
国 語	現 代 の 国 語	2	◎		2				2	【学校設定科目】 平成26年度から開設 「農業概論」
	言 語 文 化	2	◎	2					2	
	文 学 国 語	4					▲2		0・2	
	国 語 表 現	4					2		2	
地 理	地 理 総 合	2	◎				2		2	【芸術】 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択
歴 史	歴 史 総 合	2	◎	2					2	
公 民	公 共	2	◎		2				2	
	政 治 ・ 経 済	2					▼2		0・2	
数 学	数 学 Ⅰ	3	◎	3					3	【教科 情報】 「情報Ⅰ」を「工業情報数理」で代替（2）
	数 学 Ⅱ	4			3		2		5	
	数 学 Ⅲ	3					▼2		0・2	
	数 学 A	2					▼2		0・2	
理 科	科学と人間生活	2	◎	2					2	【3年次】 ▲から1科目選択（総合選択Ⅰ） ▼から1科目選択（総合選択Ⅱ） ■から1科目選択（総合選択Ⅲ）
	物 理 基 礎	2	◎		2				2	
	化 学 基 礎	2					▲2		0・2	
保 健	体 育	7～8	◎	2	2		3		7	「数学Ⅲ」選択者は、「数学Ⅱ」を前期で集中履修し、 その後に「数学Ⅲ」を履修する
体 育	保 健	2	◎	1	1				2	
芸 術	音 楽 Ⅰ	2	○	2					0・2	
	美 術 Ⅰ	2	○	2					0・2	
	書 道 Ⅰ	2	○	2					0・2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3					3	「簿記」を選択する場合は、▼と■の両方で選択すること
	英語コミュニケーションⅡ	4			3		2		5	
	論 理 ・ 表 現 Ⅰ	2					■2		0・2	
家 庭	家 庭 基 礎	2	◎	2					2	【卒業までに修得すべき教科・科目の単位数】 74単位
情 報	情 報 Ⅰ	2	◎	(2)					(2)	
共通教科・科目計		最多履修単位	19	15		17		51		
		最少履修単位	19	15		11		45		
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4		3					3	【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	課 題 研 究	2～4					3		3	
	実 習	4～12			3		3		6	
	製 図	2～8		1	2		2		5	
	工 業 情 報 数 理	2～4	◎	2					2	
	工 業 環 境 技 術	2～4					▲2		0・2	
	建 築 構 造	2～6				2			0・2	
	建 築 計 画	3～8				3			0・3	
	建 築 構 造 設 計	3～8						2	0・2	
	建 築 施 工	2～6					■2	2	0・2・4	
	測 量	3～6		2					2	
	土 木 基 盤 力 学	2～6						2	0・2	
	土 木 構 造 設 計	2～8				3			0・3	
	土 木 施 工	3～6				2		■2	2	0・4・6
	インテリア計画	4～6						▼2	0・2	
	デザイン実践	2～4			2				2	
農 業	植物バイオテクノロジー	2～6					■2		0・2	
	地 域 資 源 活 用	2～8					▲2		0・2	
	農 業 概 論		●				▼2		0・2	
商 業	商品開発と流通	2～4					▲2		0・2	
	簿 記	2～6					▼2・■2		0・4	
家 庭	フードデザイン	2～6					▼2		0・2	
専門教科・科目計		最多履修単位	8	12		18		38		
		最少履修単位	8	12		12		32		
総合的な探究の時間		3～6	◎	2	2			4		
合 計				29	29	29		87		

(5) 商業科（ビジネス創造科）

教 科	科 目	標準 単位数	学 年 別 単 位 数								備 考		
			1 年	2 年		3 年		計					
			共 通	共 通	系		共 通	系					
簿 記 会 計	ビ ジ ネ ス	簿 記 会 計			ビ ジ ネ ス								
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)													
国 語	現 代 の 国 語	2	◎		2						2	【学校設定科目】 平成26年度から開設 「農業概論」	
	言 語 文 化	2	◎	2							2		
	文 学 国 語	4					▲2				0・2		
国 語 表 現	4					2				2			
地 理	地 理 総 合	2	◎					2			2	令和6年度から開設 「電気・電子概論」 「工業技術概論」 「土木・建築概論」	
歴 史	歴 史 総 合	2	◎	2							2		
公 民	公 共	2	◎		2						2		
	政 治 ・ 経 済	2					▼2				0・2		
数 学	数 学 I	3	◎	3							3		
	数 学 II	4			2		2				4		
	数 学 III	3					▼2				0・2		
	数 学 A	2					▼2				0・2		
理 科	科学と人間生活	2	◎	2							2		
	生 物 基 礎	2	◎		2						2		
	化 学 基 礎	2					▲2				0・2		
保 健 体 育	体 育	7～8	◎	2	2		3				7		【芸術】 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から1科目選択
	保 健	2	◎	1	1						2		
芸 術	音 楽 I	2	○		—2						0・2	【教科 情報】 「情報Ⅰ」を「情報処理」で代替（2）	
	美 術 I	2	○		—2						0・2		
	書 道 I	2	○		—2						0・2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3							3	【3年次】 ☆から1科目選択（系内選択） ★から1科目選択（系内選択） ▲から1科目選択（総合選択Ⅰ） ▼から1科目選択（総合選択Ⅱ） ■から1科目選択（総合選択Ⅲ）	
	英語コミュニケーションⅡ	4			3		2				5		
	論 理 ・ 表 現 I	2					■2				0・2		
家 庭	家 庭 基 礎	2	◎	2							2		
情 報	情 報 I	2	◎	(2)							(2)		
共通教科・科目計		最 多 履 修 単 位		17	16		17				50		
		最 少 履 修 単 位		17	16		11				44		
商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2～4		3							3	「数学Ⅲ」選択者は、「数学Ⅱ」を前期で集中履修し、 その後に「数学Ⅲ」を履修する	
	課 題 研 究	2～4					3				3		
	総 合 実 践	2～4			2		2				4		
	ビ ジ ネ ス・コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2～4					2				2		
	マ ー ケ テ ィ ン グ	2～4				4					0・4	【卒業までに修得すべき教科・科目の単位数】 74単位	
	商 品 開 発 と 流 通	2～4						☆3	★3		0・3		
	観 光 ビ ジ ネ ス	2～4						■2			0・2		
	ビ ジ ネ ス・マ ネ ジ メ ン ト	2～4				2					0・2		
	ビ ジ ネ ス 法 規	2～4						▼2				0・2	【ホームルーム活動】 毎週火曜日6校時
	簿 記	2～6		4							4		
	財 務 会 計 I	2～4				4					0・4		
	財 務 会 計 II	2～4						☆3			0・3		
	原 価 計 算	2～4				2						0・2	
	情 報 処 理	2～6	◎	3								3	
	ソ フ ト ウ ェ ア 活 用	2～4			3							3	
	フ ロ ク ラ ミ ン グ	2～4						☆3	★3			0・3	
	ネ ッ ト ワ ー ク 活 用	2～4						2				2	
	ネ ッ ト ワ ー ク 管 理	2～4						▲2				0・2	
農 業	植物バイオテクノロジー	2～6						■2			0・2		
	地 域 資 源 活 用	2～8						▲2			0・2		
	農 業 概 論		●					▼2			0・2		
工 業	電気・電子概論		●					▲2			0・2		
	工業技術概論		●					▼2			0・2		
	土木・建築概論		●					■2			0・2		
家 庭	フードデザイン	2～6						▼2			0・2		
専門教科・科目計		最 多 履 修 単 位		10	11		18				39		
		最 少 履 修 単 位		10	11		12				33		
総合的な探究の時間		3～6	◎	2	2						4		
合 計				29	29		29				87		

4 令和8年度山形県公立高等学校入学者選抜日程（抜粋）

